



学校給食費等の公会計化について

平成28年11月29日

鳥取市教育委員会

1 これまでの経過

○学校徴収会計業務(給食費、教材費等)の業務改善の取組

校長会からの要望や学校事務共同実施連絡会での協議

H28.4 「鳥取市学校事務円滑化検討委員会」設置し検討開始

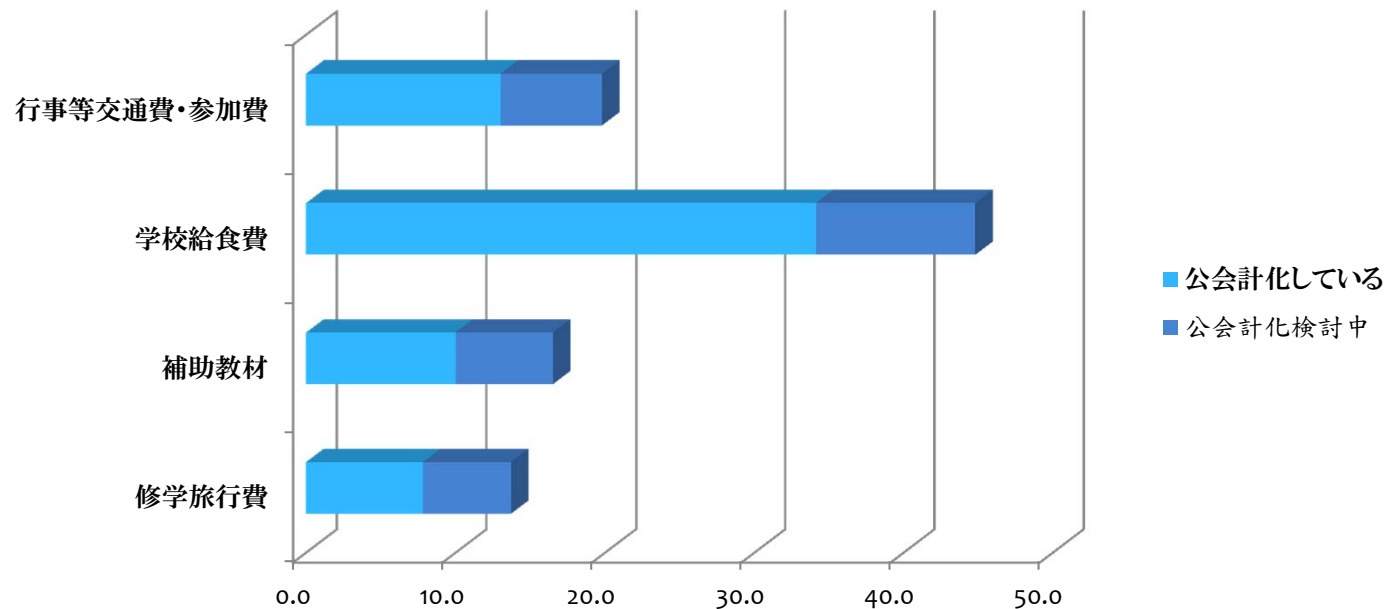
H28.6 文部科学省「学校徴収会計業務(給食費、教材費など)の負担から教員を解放する(公会計化)」改善方針の提案

H28.10～学校給食費等(給食費、教材費)の公会計化へ向けて意見聴取等(小中校長会等)

【参考資料】

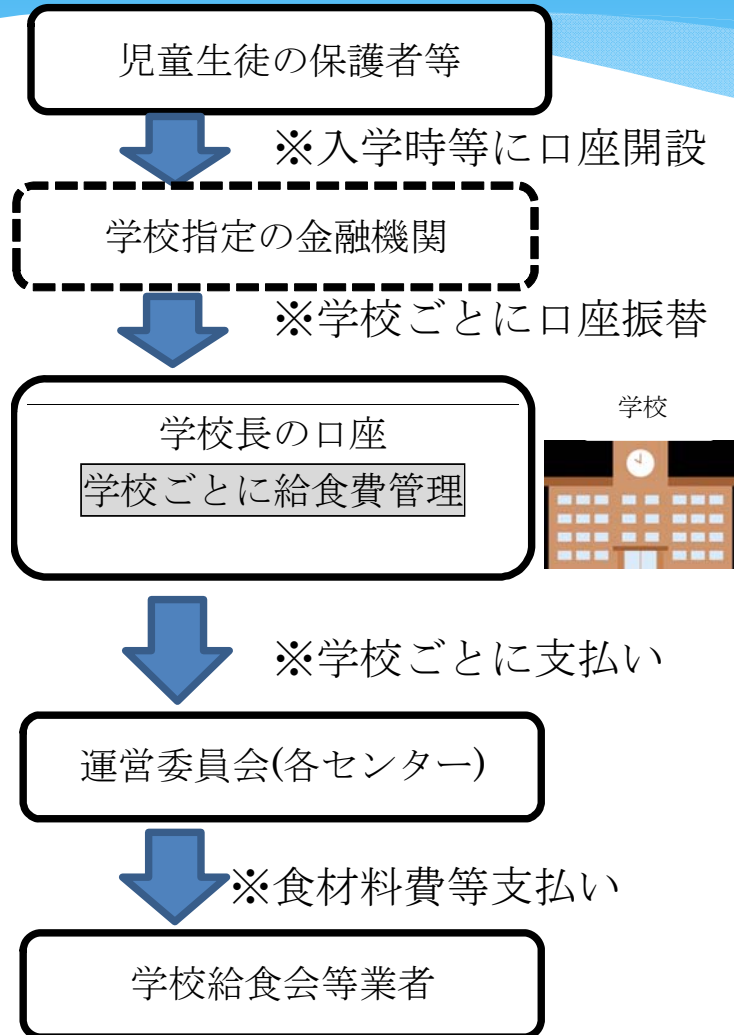
項目	(単位: %)		
	公会計化している	公会計化検討中	計
修学旅行費	7.8	5.9	13.7
補助教材	10.0	6.5	16.5
学校給食費	34.1	10.7	44.8
行事等交通費・参加費	13.0	6.8	19.8

※「平成24年度 学校運営の改善の在り方に関する取り組み」より

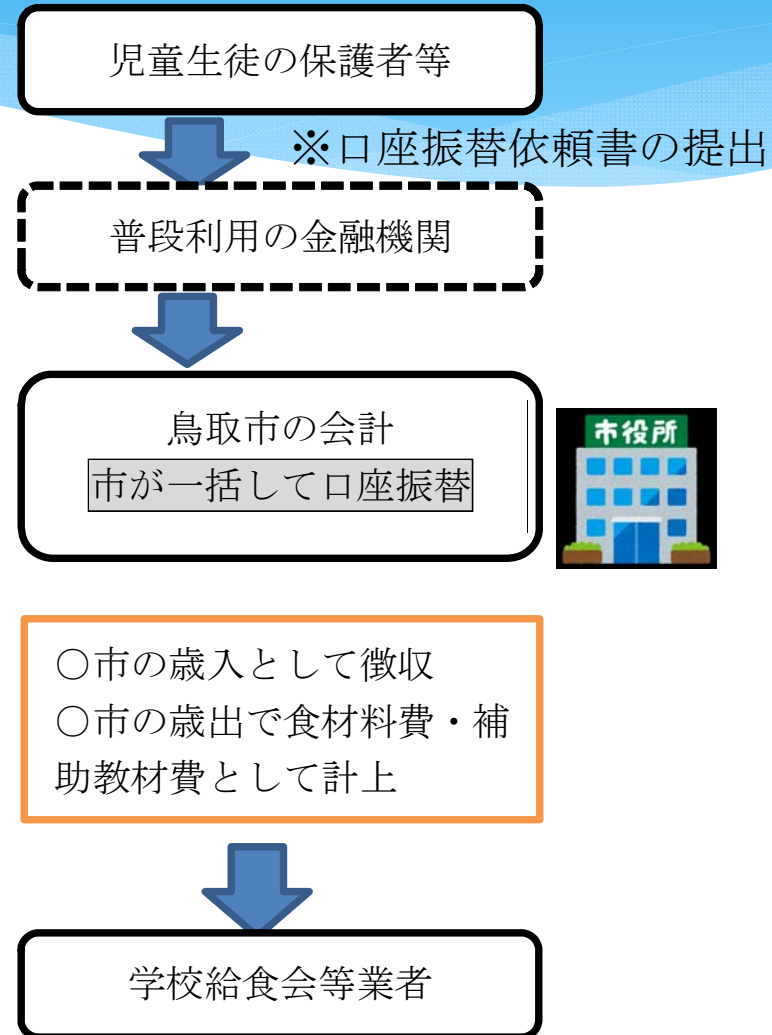


2 学校徴収金会計の流れ

【現状(私会計)】



【公会計】



3 公会計化の効果

○透明性の向上

- ・市が歳入・歳出に計上（議会・監査）
- ・金銭収受の適正化

○利便性の向上

- ・保護者が指定した金融機関等から無料で引き落とし可能
- ・納付状況の一元管理による就学支援など公的扶助への活用

○安全性の向上

- ・市が給食費等の徴収、支払いなど直接行う

○学校現場の多忙化解消等

- ・教職員の時間的負担や精神的負担の軽減
- ・子どもと向き合う時間の確保

4 公会計化移行（概要）

■移行内容

学校徴収業務のうち負担が大きな2項目について実施

- ①学校給食費
- ②補助教材費

■移行時期

平成30年4月1日

■スケジュール

平成29年 6月 条例提案
7月～ 保護者説明会等
9月～ 口座振替依頼、事務処理研修等

5 移行経費(概算)

* ■平成29年度

* [歳 出]

* システム開発経費 3,000千円

*

* ■平成30年度

* [歳 入]

* ①学校給食費(現年) 847,000千円(歳出と同じ)

* ②補助教材費 200,000千円(歳出と同じ)

* 計 1,047,000千円・・・A

* [歳 出]

* ①システム開発経費 3,000千円 (5年間)

* ②口座振替経費 1,500千円 (@10円×15,000件×10月)

* ③賄材料費(食材料費) 847,000千円

* ④補助教材費 200,000千円

* 計 1,051,500千円・・・B

*

* A-B=(一般財源) 4,500千円

6 公会計の課題と対策

項目	課題等	対応策
徴収管理の確立	約 17000 件の徴収管理の方法(システム開発)をはじめ、会計規則による処理の徹底を図る必要がある。	システム構築をはじめ、操作ミスや事務処理の徹底を図るための研修を行う。
未収金の対応	公金化に伴い、学校現場から徴収業務を撤廃するため、保護者とのきめ細やかな対応がなくなるため、給食費の未収金が増える傾向にある。	学校との連携・協力を図り、未収金が増えないような徴収体制を構築する。 <ul style="list-style-type: none">・ 徴収員の設置など体制整備・ 債権管理課との連携・ 学校との連携・協力体制整備

7 学校徴収金システム概要図

☆鳥取市がまとめて金融機関と契約することで費用負担が軽減される

平成30年4月開始予定

